

私たちの生活信条

1. 国民の祝日には国旗をかかげよう
2. 交通規則を正しく守ろう
3. 明るく正しい選挙を実現しよう
4. 小さな親切を広めよう
5. 小さな暴力でも追放しよう
6. 定められた時間は必ず守ろう
7. 環境の美化につとめよう

# ながさ

## NAGASU

1 月号  
昭和42年1月発行  
通算 第45号

発行人 長洲町中央公民館  
発行人 浮島三代喜  
編集者 広報長洲編集部  
印刷所 中央印刷紙工KK

人口の動き(1月分)

出生	15名	男 7名	女 8名
死亡	15名	男 7名	女 8名
転入	43名	男 27名	女 16名
転出	41名	男 13名	女 28名
世帯数	3,413	世帯(3,413)	
人口	15,571名		

### 健康で明るく

## 豊かな郷土建設

### 町発展へ全力投球

長洲町長 中逸光



新年あけましておめでとうございませう。

みなさま方はご家族おそろいでよいお正月を迎えられたこととおよろこび申上げます。

今年町合併してから丁度十年目にあたります。おおいに飛躍発展の年にしなければならぬと存じています。

私も二年目の正月を迎えますます張り切つて、希望と信念に燃えて

「健康で明るく、豊かな郷土建設」

に邁進する覚悟です。

どうぞ本年もよろしくお願い致します。

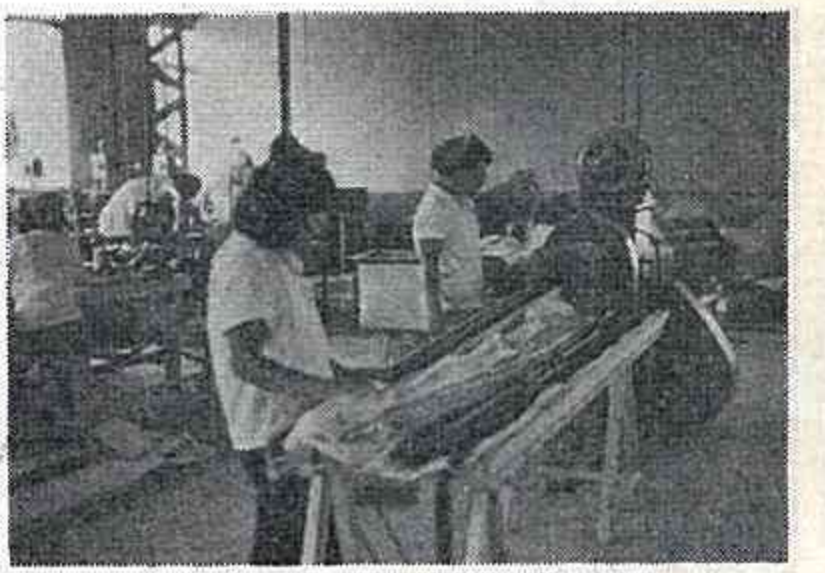
本町は合併十周年を迎えますので、町民の皆様をはじめ、関係機関の力強い協力によって

合併前に比べ年々発展しつつあることは、まことに大きなよろこびであります。

特に昨年は町民各位の協力と努力によって、事業や、その他の仕事が順調に進み、又、農家の方々には史上最大の米の豊作と実にくまれました年であった。ちなみに、役員職員全部に

昨年の本町町政の十大ニューズの調査をとりまとめましたところその順位は次の通りでした。

- 1位 井上ゴム工場の創業開始(8月13日)
- 2位 長洲三農協の合併、新農協の誕生(4月1日)
- 3位 農免道路の建設着工(12月8日)
- 4位 学校給食センターの建設着工(12月7日)
- 5位 国鉄鹿児島本線の用地買収と複線化工事着手
- 6位 上沖洲簡易水道の完成と給水開始(4月1日)
- 7位 船橋つくだに工場の長洲進出内定と有明物産の操業
- 8位 消防自動四輪車購入と消防機動分団の発足(11月25日)
- 9位 長洲中学、林加代子さんの砲丸投げ日本一の獲得
- 10位 冠王の獲得
- 11位以下主なもの



井上ゴム工場

備、港内内堤防整備、長洲小唄と踊りの発表、東荒神町子供会、腹赤新町子供会の全国知事表彰。他多数ありました。井上ゴム工場は八月十三日から操業を開始し、現在五十数名の従業員で、本年度は更に工場の拡張を進めている。新産都市法に基き誘致第一号工場として今後の町の発展に寄与するものと信じている。

二位の三農協合併と新農協の誕生は三年がかりで余曲折はあつたが関係者の協力、組合員の自覚により、力強く第一歩を踏み出し、明日の農家の繁栄のため前進している。

三位の農免道路の着工については、長洲町に決定するまでは非常なるあい路があつた。しかし、各方面の協力により、三カ年計画で四千五百万円の大予算で、立派な道路が旧六栄地区腹赤地区の中心を通る事になつた。



長洲町農協

△長洲警察官派出所の移転改築 △米の史上最高の大豊作(出荷高三万一千俵) △平原地区の町営住宅の建設着工 △長洲郵便局の移転改築の着工 △菜切浦川の汐止め大樋門の完工近し △内野消防団長の消防功勞による藍綬褒章受章 △上沖洲地区農林省管轄の海岸堤防の工事着工 △上木町の嘉永川橋の永久橋の完成 △長洲町教育沿革誌の発行 △航送船道路(建浜、梅田)の舗装整備 △宮本龍之介(地区館長、体育指導委員)文部大臣より体育振興功勞者表彰 △長洲港の荷揚場の拡張整

### 的ぼかい

現代において過去は心のくぼるさとしてある。わたしたち長洲町民が過去(平安末期)と現代の交錯点の中に四王子宮の的ぼかいを見る。

あの水点下の騎馬戦「的」をタツクルする青年、肩車に乗った青年が四方八方から、かん声とともに飛びのり、重なり合う大きな人間裸像ができあがる。それは、右に左に津波のようにダダーツと押しよせる。

裸像の頂上の得意の青年は両手をひろげた瞬間に他の若者に引きずり下ろされる。

正に青春のエネルギー、未来への壮大な夢を抱いた若人の人間回復の一瞬間である。(豊田)

### 有権者として自覚新たに

#### 明るく正しい選挙推進委員 伊予政勝

早く、早く正しい選挙実現の日を迎えるためには、お互いに有権者としての自覚を新たにして、厳正な態度で選挙に臨みたいものである。

選挙浄化は有権者が、ひとりひとり自覚するまで待たねばならないだろうか。どんな分野に住んでいても、私たちが政治から逃げ去ることはできません。政治の方で私達をつかんでほすなさいといふのです。だから、ふだんから政治に対してきびしい眼を向ける姿勢をくずすことのないようにしなければなりません。大切な一票こそ、きびしい目で見ると社会の基礎です。

八位 本町で始めて、大型の消防自動四輪車を二百六十万円の予算をかけ、しかも敏速に消火作業ができる機動分団を発足させ、生命財産の保護に、さらに強みを増した。

九、十位に対しては、本町に両選挙の常日頃の努力、精進に対して感謝すると同時に、長洲町全体の大きな名譽である。両選挙を大切にすると共に、後に続く選挙の生まれることを希望したい。

以下の事業について八十一年以上経た古い建物の警察署も移転、改築、六千五百万円の予算を投下した。菜切、浦川の汐止め樋門の完工等々、町の一年間の予算よりも多い二億数千円以上の県、国の新産都市事業が推し進められてきた。これも町民のみなさま方の一方ならぬ努力と協力の結果であります。

このように、今日の長洲町は非常に大切な時期に立っています。町の将来を築く数々の仕事に、事業に、私の持てる若い力、エネルギーを町発展の推進に注ぐ決意である。

合併十周年、今年こそ長洲町大飛躍発展の年にすることを希望し、新年のあいさつといいたし町づくりに努めたいと思ふ。



拡張される農免道路

七位 つくだに工場の誘致については、やつと長洲に来ることに内定し、本町の水産業、農業の振興と結びつく方向にもつていきたい、産業振興と結びつく、つくだに工場として大きく

### さざなみ

一九六七年の新春を迎え、心から新年おめでとうを申し上げます。年改まり、すがすがしい気持ちで迎える元旦の朝、若水を汲んで、一年の邪気を除くという風習も、年始廻り今日の頃ではあるが、年始廻りたる門で羽根づく着物姿の子どもたち、一年一度の音信になりがちになつたらしい人々からの年賀状等々、やつぱり正月の風情はいしれぬ趣きがある。◎一月初旬の夕、梅田支部婦人会の初会が元村支部長宅で遠く折からの雨で、車道から遠く離れた、竹林等に囲まれた同家で、林に降りそそぐ柔らかな雨の音さえも聞える程で、昔、読んが国木田歩の武蔵野の中に出てくる風景を思い出させるほどであった。◎又、一月下旬の夕暮れ、多良岳の向こうに陽が落ちて、岸辺や船の灯が夕霞にさすむ港の風景に一幅の絵画を思わせるような美を見出し。長洲町の自然は美しい。この美しい自然を持つ郷土に生れたことを私は幸福に思う。◎長洲町も町合併して、今年で十年になった。十年、一言と云うが、十年の歳月は、私たちの生活を大きく変えた。十年前、殆んどなかったテレビも九五%の普及率を示している。自転車もバイクに変わり、自動車の普及率も約十%位になり、電話の数も七軒に一台位の割合で普及している。台所の生活にしても、殆んど家庭がプロパンガスや電気器具になつてしまつた。農業経営のあり方にしても、十年間でずいぶん変わったと思はれる。生活のしかたが急速に変わっていきけれども、唯一つ、あまり変わらないものがある。それは頭の切りかえであり、精神面の向上の点があるといわれている。物質文明の向上と共に、精神文明も一緒に進んで行かなければ、片ちばな物が生れてくる。そこに、現代の生活のひずみがあるのではなからうか。◎年頭に当って、私は、精神文明の向上に今年も努力していきたいと思つてお話ししている。◎町の人たちが、みんな愛情と誠実の心で接し、真剣に町のことを考え話し合い、寛容と協力の精神で町づくりに努めたいと思ふ。



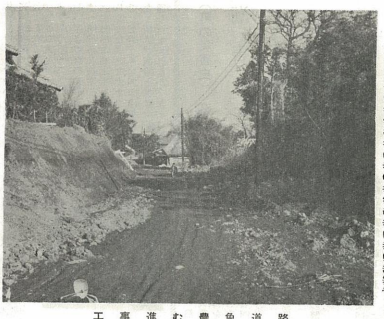
明るい豊かな町へ

事業の推進をはかる。
一、工業都市の事業促進
二、産業構造の改善
三、農業の振興
四、教育の充実
五、市民生活の向上

基礎整備を進めて 所得増大

重点は「新米づくりの運動」など
町民の所得を増大させるためには、基礎整備を進め、所得を増大させることが重要である。

健康で明るい生活の建設を 新年座談会



工事進む 農免道路

町民の健康で明るい生活の建設を
新米づくり運動は本年度の重点である。町民の健康と生活の向上を促進するため、新米づくり運動を積極的に推進する。

公正に町民の信託にこたえる

長洲町議会議長 中山正賢
町民の信託にこたえるためには、公正な行政と透明な財政の実現が不可欠である。町民の利益を代表し、誠実に職務を遂行する。

三、教育の充実
四、市民生活の向上
五、市民生活の向上
六、市民生活の向上

町民の所得を増大させるためには、基礎整備を進め、所得を増大させることが重要である。

町民の健康で明るい生活の建設を
新米づくり運動は本年度の重点である。町民の健康と生活の向上を促進するため、新米づくり運動を積極的に推進する。

町民の信託にこたえるためには、公正な行政と透明な財政の実現が不可欠である。町民の利益を代表し、誠実に職務を遂行する。

国民年金に是非加入を
国民年金の加入は、老後の生活を支える重要な手段である。是非加入を促す。

町民の所得を増大させるためには、基礎整備を進め、所得を増大させることが重要である。

町民の健康で明るい生活の建設を
新米づくり運動は本年度の重点である。町民の健康と生活の向上を促進するため、新米づくり運動を積極的に推進する。

町民の信託にこたえるためには、公正な行政と透明な財政の実現が不可欠である。町民の利益を代表し、誠実に職務を遂行する。

重点主義で予算投入
町民の生活向上のために、重点的に予算を投入する。

町民の所得を増大させるためには、基礎整備を進め、所得を増大させることが重要である。

町民の健康で明るい生活の建設を
新米づくり運動は本年度の重点である。町民の健康と生活の向上を促進するため、新米づくり運動を積極的に推進する。

町民の信託にこたえるためには、公正な行政と透明な財政の実現が不可欠である。町民の利益を代表し、誠実に職務を遂行する。

たはごは町内のたばこ屋さんで
町内のたばこ屋さんの状況を調査し、町民の健康を守る。

町民の所得を増大させるためには、基礎整備を進め、所得を増大させることが重要である。

町民の健康で明るい生活の建設を
新米づくり運動は本年度の重点である。町民の健康と生活の向上を促進するため、新米づくり運動を積極的に推進する。

町民の信託にこたえるためには、公正な行政と透明な財政の実現が不可欠である。町民の利益を代表し、誠実に職務を遂行する。

清源寺チーム優勝

長洲町内駅伝大会

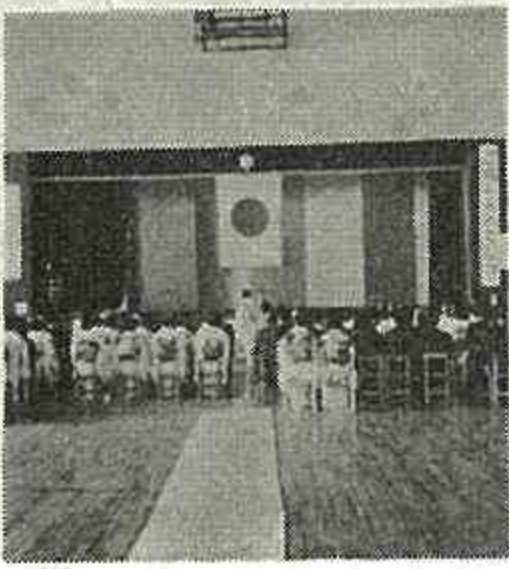
健康増進と親睦和を計ることを目的とし、町内駅伝大会は絶好の駅伝日和の一月二十二日午前十時より開催された。

参加は十七チームで各町内の代表選手六人は町内一周十六キロの走破にどんだが、その中には有明高専など五チームがオープン参加をして大会に花を添えた。

- 一位 清源寺A 五四分四七秒
二位 東荒神 五七分二二秒
三位 長洲新町 五八分一〇秒
以下、梅田B、腹赤、永塩、大明神、宮野、折崎、下木町、清源寺B、梅田A

おめでとう二十才 厳しゆく成人式

昭和四十二年の成人式は長洲中体育館で午前十時から厳しゆくに來賓多数の出席のもと行なわれました。



郷土の遺跡をたずねて (町の災害史) (2)

寛政の潮害

〇雲仙嶽の大爆発

寛政三年(一七九二)十月八日に起きた地震は、次第に回数を増し、十一月十日頃には激震となり、翌年正月に入り山が鳴動して落雷のようになった。

三月五日晴 地震つゞく温泉岳なるべし。
三月五日晴 地震つゞく温泉岳なるべし。

〇島原大變の被害
島原の城下町は町半分が泥流に埋没した。家屋土蔵五三五五軒、怪我人七〇七人、牛馬四九六頭その他道路塩田等もおかされ、惨状は地獄絵巻ながらである。

〇島原大變の被害
島原の城下町は町半分が泥流に埋没した。家屋土蔵五三五五軒、怪我人七〇七人、牛馬四九六頭その他道路塩田等もおかされ、惨状は地獄絵巻ながらである。

〇島原大變の被害
島原の城下町は町半分が泥流に埋没した。家屋土蔵五三五五軒、怪我人七〇七人、牛馬四九六頭その他道路塩田等もおかされ、惨状は地獄絵巻ながらである。

〇島原大變の被害
島原の城下町は町半分が泥流に埋没した。家屋土蔵五三五五軒、怪我人七〇七人、牛馬四九六頭その他道路塩田等もおかされ、惨状は地獄絵巻ながらである。

いつまでも元気な伸生会

駅通り老人クラブ

お手つないで暮していけば、みんな楽しい心になつて、年も忘れてニコニコと、楽しい気持ちの伸生会。

国民年金(拠出制) 疑問に答えて

町民課年金係

あたらしい年を迎えて国民年金もいよいよ夫婦一万円年金への一歩をふみだすこととなる。

答 老令福祉年金は主として年金により拠出年金に加入できない期間の老令障害死亡といつた場合に所得保障を行なう制度なのです。

このように塔は松尾の西御幸墓地、川口の方大良院寺、網田の戸口浦にもあることを附言する。

〇風津浪
有明海の潮害は毎年のようにつづいた。記録によれば寛政十一年八月九日、大正三年八月廿五日、大正七年七月十二日、大正八年八月十六日、大正十三年の潮害は新塘の十七ヶ所が破損した。

ありがとう

長洲町社協へ寄附
左記の方々より長洲町社会福祉事業資金として多額の御寄附を頂きました。

景行帝の腰掛石

腹赤の古庄屋敷と云う竹林中に「お腰の石」と呼んで里人の尊崇している高さ一・三メートル余の砂岩の板碑がある。

長洲町下町

長洲町下町
長洲町下町の歴史をたずねて、その名を録してここに納め、魂を鎮めしむ死者もしる事あらは千年の後までも死して朽すとおもふなるべし。

長洲町下町

長洲町下町
長洲町下町の歴史をたずねて、その名を録してここに納め、魂を鎮めしむ死者もしる事あらは千年の後までも死して朽すとおもふなるべし。